

都民ファーストの会、小池新党、が追加擁立

公認候補は頑張るママ!

新たに発表された2人の女性候補は、ともにママであるという共通点はあるものの、それぞれが置かれている状況や、歩んできた道のりはまったく別のものだった――。



女性のためのキャリアアドバイザーとして奮闘

茜ヶ久保嘉代子さん 41

「まず保活」

私もなか職場復帰できなかつた

「100力所くらい保育園の情報調べて、少しでも入れる可能性がある園を10力所以上は見学しました。保育園に預けられないと職場復帰が難しい。必死で、保活、していました。結局入れたのは新設の私立保育園だったんです」
自身の苦しい保活、体験を振り返るのは、女性の生きやすいライフスタイルを提案するキャリアアドバイザーの茜ヶ久保嘉代子さん(41)。

キャリアウーマンとして活躍しながらの出産を経て、現在も長女(7)の子育て真っ最中の彼女がスポットライトを浴びる日が、近づいている。茜ヶ久保さんは小池百合子東京都知事(64)の政治塾「希望の塾」を受講し、7月の都議選の候補者選抜試験を受験。そして3月8日、都知事の会派「都民ファーストの会」が公認候補予定者として、政治経験ゼロの彼女を杉並区選挙区で抜擢すると発表した。



「希望の塾」志願のきっかけは、義理の母のブッシュでした。「働きながら子育てするワーキングマザーとしてのキャリアにプラスになる、素晴らしいチャンスよ」と。同い年の夫は会社員ですが、実家は政治家系で、義理の祖父が衆議院議員を、義理の父が群馬県議会議員をそれぞれ務めてきた。真実の妻、関心も非常に高いんです」
75年福岡県生まれの茜ヶ久保さんは、東京大学に合格して上京。人材育成のベンチャー企業や日本IBMのコンサルティング部門に勤務後、15年にキャリアアドバイザーとして独立した。

もっと生活遊んじゃおう! Mart ★4月号の内容 定価640円(税込み) 光文社 発売中! ごはんがおいしく炊ける「鍋」味や使い勝手を大検証!

究者、23歳の次男はフジテレビ社員と、立派に育て上げた彼女だが、これまでの半生は、壮絶なものがあった――。
62年、東京都生まれの入江さんが、夫となる男性と知り合ったのは、お天気お姉さんとしてデビューしたころ。
「1学年上の彼はフジテレビの記者1年生でした。『記者になるために生まれてきた』という彼の志は高く、『ピュリツアー賞(II報道などに贈られる権威ある賞)』を取りたい」というのが口癖でした。そんな入江敏彦さんと'87年に結婚。'88年に出産した長男

が2歳のとき、夫のエジプト・カイロ支局赴任が決まる。「当時のカイロは非衛生的で、子どもを連れていった病院では手術室にもハエがいるような環境。私は吹きすさぶ砂嵐の中、泣きながらベビーカーを押していました……。でも、希望していたカイロ特派員になれた夫のことを『自分の夢を必ず実現する人だ』とあらためて感心していたんです」

それは、長男が6歳、次男はまだ11カ月という時期の出来事だった――。
'94年12月6日、夫はケニアのナイロビで小型機に乗り込んで、ザイル(当時)のゴマに向かうはずでした。長男の誕生パーティーの準備をしていた14時半、突然、日本大使館から電話があった――。
「フジテレビのチャーターしたヘリコプターが墜落したというんですが、本当ですか」

電話すると、「未確認なんです。入江君の乗ったチャーター機が墜落したという情報が……」と言うんです。ナイロビに着くまでの1日半、入江さんは周囲に「大丈夫だよな!」と何度も確認していたという。しかし――。
「行つたらっしょい」と送り出した夫は亡くなつていて、黒焦げでした。でも私は判別できない彼の顔をなでて「よく頑張ったね、私がすべてを見届けるからね」と伝えていました。手が、すすで真っ黒になつちやう……。

でも、髪の毛の一部が残っていました。カイロの自宅を出発前の夫に言われ、私が短く刈った髪でした……。
32歳と若いジャーナリスト・入江敏彦さんが、殉職したという悲しいニュースは、日本でも大きく報じられた。「私は、毎日泣いて過ごしていました。子どもたちを寝かせると、部屋の隅にうずくま……。でも、夫の生きた証しを伝えたいと思えました。そのためにも、子どもたちを立派に育てて、社会に送り出すことを決意しました。」
同時に、2人の男の子を育てるには、社会性を持つて生きなければいけないと思い、夫の勤めていたフジテレビで週3日ほど契約社員として働き始めたんです。
'97年には中途採用社員となり、今年で勤続20年。女手ひ



PKO取材中の飛行機事故で夫を亡くし、32歳でシングルマザーに入江伸子さん 54

エジプトの砂嵐の中、泣きながらベビーカーを押した